	ラノベタイトル	感想
1	ザ・ジャグル	おすすめするラノベは唯一面白のザ・ジャグルです 名久井和都所有チャールズ事務に所属の諸特のたのリストなどを模倣事に始末する秘密警察ジャグルに所属する主人公ジェイドと 敵材料に偽熱その秘密警察の活動現場に居合わせてしまったヒロインであるリポーターのキャロルの織りなすSF系のラノベです
2	生徒会の一存	さて語るのはもちろん！「生徒会の一存」！ 王道すぎてかしましい気持ちもあるが俺はこのラノベが本当に好きで好きで！！今でも時々読み返します さてこのラノベのどこが好きかと言われるともっと難しいんだけど…なんせ全部好きだから それでもあえて言うならやはりキャラクター の掛け合いでしょうか あのやりとりは他のラノベでは味わえない… ちゃんと本当に面白い話の展でしっかりストーリー進めてるのもいいですね 好きなキャラはもちろんキー君！かっこいいよねぇ 四巻だったっ高系ちゃんがマンマでありますす あのでっかいリボンかわいいし絡ってのもいい
3	つきツキ！	自分が語りたいラノベはつきツキ！ですねあの主人公の恋の実に程口不信り寝り方は人並に大きな影響与え乱した多分今の自分があるのはこのラノベのおかげです 各キャラの表情も絵声にあっていて基本は明るいけどシリアスなシーンはきっちりシリアスでとてもおすすめです！！他も面白いですけど絡みからもに加速的に面白くなるのでぜひ読んでみてくださいちょっとえっちですけど
4	サイコロジカル	西尾維新著最新シリーズの4作目サイコロジカル そのやでも特に小説と別流した後側に浮かされながら収速を助けに行くところが好きです
5	狂乱家族日記	語りたいラノベは名前の通り狂乱家族日記です それまで頑卵「黄色いたった」でも私が初めて自分のお金で集めたラノベですね… 家族を知らない為るは生きてしまった強酒も種族もバラバラな面々がひょんなことから「家族」として集まって次第に本当の家族になっていく（ついでに世界も救っちゃう）という作品です 私が最初家族をみんなへったゃが好きなのは間違いなくこの作品のせいですね 音の為は音声が好きでしたが今読み直すとみんな好きだな…ってなりますでも美子にその名前はどうかと思うけ如暴様
6	異修羅	私のオススメは異修羅という作品 様々な分野において最強の実力を持つ達人たちを中心に暴力や謀略が飛んみな偶然が飛んみな偶然が飛んみな偶然

34	戦闘城塞マスラヲ	というわけで今回紹介するのはあの風呂敷広げまくってちゃんと畳むことで有名なMHモアキ氏の戦闘城塞マスラヲですねちなみに戦闘城塞は出てこないし,特にマスラヲでもないです 前作のおり-がみのほぼ続編なんですが私が読んだ頃にはこの作品から読み始めてめっちゃ面白かったのでここから読んでも問題はないと思います ストーリーとしては引き電ちゃの主人公が秘密機体型コンピューターウイルスと共に謎の大金型機材(要するに天下一品呼武道会みたいな感じに出場して波乱万丈の大会に挑むコンビものですね 私が好きなのは良僕をバキバキに打ち砕かれて地下の強制労働施設に収容されてからのクライマックスなんですがここは伏線してもタバレになるのでその旨で確かめてくれ！！！！って感じなんですよね熱いシーンが全部ネタバレになってしまう… 当時のアニメゲーム金属ネタが出てくるので今現じともっとう？？？かもしれませんがパラッパラッパーが好きなら読んで損なし！よめよめよめ
35	DDD	4作目に相当するのは「DDD」です　ミエルちゃんの彼氏の知り合いじゃないよ アニコミ最寄品により精神ヒットでなく肉体までもが異常化した"悪魔憑き"と呼ばれる存在がいる世界　故郷の記憶を変まで持ち越せない主人公は本物の悪魔から優りた義手を用いて"悪魔狩い"を行う、という感じの作品 簡単に言うと奈須きのこの作品でも作品としては面白かったのに結構が"全然面白くない"エイプリルフールとかホネタの時にはちょこちょこ話を出してるせいで奇怪な感じ"きれないふざけんなよあの悪糸飯って感じの作品です 個人的に好きなのはこ段階変化の魔球を投げるシンカー"編と良い感じの中二病が心をくすぐる"竹熊の様り殺"編　妹の話もっと書け 「ninjaをほとも月姫ないけどこれも書きよげろ
36	名探偵夢水清志郎事件ノートシリーズ	小中学生向けの探偵もの 中学生のミラ子姉妹が「教授」と呼ばれる変人名探偵と一緒に様々な事件に出会う話 謎を解くことはしつつ事件を解決しなかったり一部だけ解決したり曖昧解決したり場合によっては犯人に与したりと子供向けだけに道徳的な教訓を含めた解決方法が多くそれがいいところ 子供向けだから読みやすいので解説する登場人物が少ないや難語句使う人くらいまでなら教えすぎおススメ …とはいってもいかんせん2000年前後基準で描かれているので現代人が読むと正直どうだろう なから思い浮べる子供向けだからか登人事件が浅は薄かったのも特徴かもしれない
37	異世界誕生 2006	おすすめするラノベは伊藤ヒロの「異世界誕生 2006」です あらすじとしては「異世界転生モノの小説を書き残して自殺した息子の小説の続きを描くことで精神の均衡を保っていた母親と、その趣味をやめさせようとする姉、その姉から協力を依頼される、自殺した息子の死因となったトラックを運転していた運転手の3人が、それぞれの活動を通じて自殺に向き合っていく」といったストーリーです あらすじや登場ごけみるといわゆるなろう的異世界小説への皮肉的なアンチの話に見えますが実際、作者的にも最初はそういう的にするを予定だったらしいし、中盤からは単なる風刺的な小説からご制作活動とそのものへのお話へと変化していきます 当時のラノベの流行や、インターネットを利用した執筆活動など、2006年という時代背景を存分に生かした風刺もこの手のメタ的な小説として面白いです ラストはすこしご都合主義的な部分もありますが、最作活動をテーマとした小説として一こまで残い業間は無いと言い切れるくらい凄晴らしいラストシーンですので、ぜひ読んでみて欲しいです
38	武装神姫LOST DAYS	私が紹介するのは武装神姫LOST DAYSです いくつかあるを各15cmの美少女フィギュア「武装神姫」を題材にした作品の一つですが特徴は何といっても年利事が主人公というあですかね 音ながらの刑事スタイルを貫く個は相棒の死をその相棒の所持神姫であるメアリーと共に後の死の真相を追っていくことになります 基本的にアーンヴァルMk.2型の性格設定よりも数ナム倍の強いメアリーに乗り回されつつも事件解決に共に奔走する、精神的には年頃の子といった具合なので年上の連の差がハマる人にはハマる関係性かと よくあるロボットペの倫理問題をベースにしつつも武装神姫という全長15cmの隣人を落とし込みつつハードボイルドに仕上げるという当時中々に斬新だった取り合わせでしたが無事三部出たあたりも面白さは保証されています よって述べた通り主人公が機械音痴で武装神姫というものの知識がないので所じ音様で見ていけるという点もあり世界観もよくわかるような設計となっています 昨今流行りの美少女プラモの先駆けとも言える作品なので理解度を別段必で深める、そういうのもありなんじゃないかなと感ずたちのようなユーザーにもおすすめしたい一品です